



あくなき創造で持続可能な社会を

【新元号】 改元に伴う新元号への 切替手順 (e-Label版)

2019.3.1
株式会社サトー

e-Labe 和暦設定について

■ e-Labe の和暦機能について

- 元号は e-Labe Designer で文字登録しているので、手動で登録変更が必要
- 年数は e-Labe Designer で西暦に加減算して算出しており、手動で変更が必要

※平成なら西暦下2桁+12で算出

※変更は和暦を1年に変更する

- 元号設定は e-Labe Designer で保持しており、プロジェクトファイルではないので、プロジェクトファイルとして「平成用」と「新元号用」で保存していても、Designerが新元号で保存されている状態で平成用のプロジェクトファイルを開くと新元号に変わってしまうので注意が必要

The screenshot shows the '和暦設定' dialog box with the following settings:

元号	平成
西暦	2019
和暦	31
加算値	12

Buttons: OK, キャンセル

The screenshot shows the '和暦設定' dialog box with the following settings:

元号	新元
西暦	2019
和暦	1
加算値	-18

Buttons: OK, キャンセル

e-Labe 和暦設定変更

1. 和暦変更手順

①プロジェクトファイルを開き、「ツール」-「設定」を開く

②オプションタブをクリックし、右下の「和暦」をクリック

③元号を入力する

④年数を入力する

①

プロジェクト - e-Labe Designer - [[1] レイアウト1 - 発行レイアウト]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) データ(D) ツール(T) ウィンドウ(W) ...

設定(S)...

②

ツール設定

税率 オプション SAS

プロジェクト新規作成時にレイアウト選択画面を表示する

Windowsフォントを使用

端末Noの参照を許可

プロパティウィンドウを表示

プロジェクトをアーカイブせずに保存を許可

アーカイブ出力時にバックアップを保存

外部データ取り込みメニューを表示

③

和暦設定

元号 平成

西暦 2019

和暦 31

加算値 12

OK キャンセル

④

和暦(E)...

OK キャンセル

e-Labe 和暦設定の運用上の注意点

■ 和暦設定の運用上の注意点

- ① 新元号への自動切替はされないため、フォーマットファイルを2種類作成し、フレキューブの e-Labe Print でファイルの切替を行う必要がある
 - ② 元号の情報は e-Labe Designer (ソフト) が保持しており、プロジェクトファイルでは保持していないため、元号切替前にプリセットデータの更新が必要な場合は、都度各元号に設定してフォーマットファイルの出力を行う必要がある
- ※フォーマットファイル出力時、都度名前を設定するか、前回出力したファイルを選択して出力を行う